


FISHING トピック No.10

喜多久干潟の『主』巨大ダコ現る

3月中 旬に外壁工事が終わり早2ヶ月が経ちました。工事のため水を抜いていた釣堀も、徐々に水が溜まりつつあります。いよいよ釣堀復活に向けて本格始動！水を抜いた時にいたフナは約800匹。この数を目標にこれから繁殖 & 捕獲に挑みます。ちなみに…水を抜いて行き場を失った多くのフナたちは地域の方の池で元気に過ごしています。今現在はギンブナとゲンゴロウブナ（ヘラブナ）の2種類69匹が釣堀で優雅に泳いでいます。みなさん、もし少年自然の家に遊びに来た際には是非フナを探してみてください！！たまに濁って見えないことがあります。ご勘弁を 



さて、季節も春が終わり夏の足音が聞こえてきている今日この頃…。今年最後の春の大潮ということで磯場へ生き物調査に出かけました。そこで出くわしたのは巨大ダコ！2kg を超えるマダコでした。繁殖 & 産卵のためにやってきていたのかもしれませんが。タコの仲間は世界に約200種類おり、日本近海でも50種類以上が確認されています。タコは他の生き物とは違った特徴を持っています。それは体の各器官を動かすための脳と8本の足を各々に制御するための8個の脳があることです。そして、その9個の脳を動かすために3個の心臓まで備わっています。また、タコの体の約90%は筋肉でできているといわれています。パワーは凄まじく時には大型の魚を捕まえて餌として食べているとか！そんなタコ、日本では「タコ焼き」や「タコ飯」など家庭でよく食べられていますが、世界的にタコを好んで食べる国は少ないようです。



タコにはまだまだ解明されていない不思議がたくさんあります。タコそして海の生き物を探しに喜多久干潟へ遊びに来てください！最後に…タコは漁業権に引っかかる可能性があります。見つけても触るだけにしよう。捕まえたり持ち帰ったりすると…密漁になることも！海には決まりがあるので、しっかりと守って楽しく遊ぼう。猛毒のあるヒョウモンダコにも注意してください！